

地域を担う人材育成のためのキャリアプランニング推進事業 【学校を核とした地域力強化プランの一部】

令和4年度要求・要望額 8百万円
(前年度予算額 8百万円)



文部科学省

背景・課題

◇Society 5.0に向けた人材育成～ 社会が変わる、学びが変わる ～ (平成30年6月5日 大臣懇談会・省内タスクフォース決定)

第3章 (3) ②地域の良さを学びコミュニティを支える人材の育成

高等学校と地元市町村・企業等の連携により、地域課題の解決等の探求的な学びを実現する仕組みの構築や、進路決定後に地元を離れる生徒も対象としたインターンシップを促進

◇まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020改訂版 (令和2年12月21日閣議決定)

第2章. 1. (2) ②修学・就業による若者の地方への流れの推進

地元への愛着がUターン希望を左右するといった指摘があることから、地域に誇りを持つプログラムを以下の施策等を通じて推進する。

・地元就職に資するキャリア教育の推進

◇まち・ひと・しごと創生基本方針 2021 (令和3年6月18日閣議決定)

第3章. 2. (1) ②修学・就業による若者の地方への流れの推進

小・中・高等学校におけるキャリア・パスポートの活用について、小・中・高等学校間の継続性を図り、より地元企業への理解を深め、地域の実情に応じた小・中・高等学校が一貫したキャリア教育を推進する。

事業内容

「キャリアプランニングスーパーバイザー (CPSV)」を教育委員会等に配置し、地元への愛着を深めるキャリア教育の推進等を通じ、地元就職し地域を担う人材の育成を図る。

<令和2年度 配置人数22人>

- 小・中・高等学校を通じ、地元への理解や愛着を深めるキャリア教育の推進
- 職場体験やインターンシップの受入れ先の開拓及び学校と企業等とのマッチング
- 教職員及び学校に配置された外部人材への支援・相談・情報提供
- 生徒へのキャリアカウンセリングや企業の情報提供などの就労支援
- 高校や地域若者サポートステーション等と連携し、中退者や高校卒業後早期離職した者等への就労支援



(例・地域におけるキャリア教育推進のための協議会)

対象校種 小学校、中学校、高等学校等

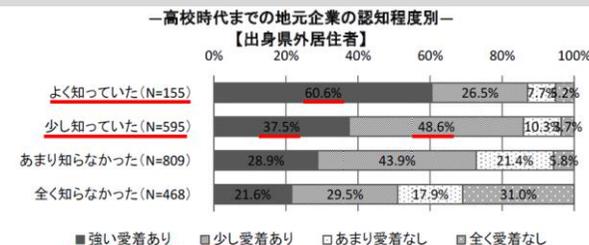
実施主体 都道府県、市区町村

補助割合 補助率 (国:1/3 県市:2/3)

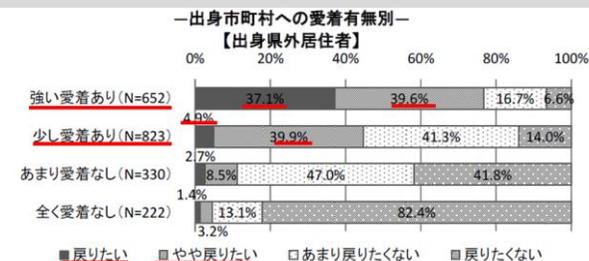
補助対象経費 諸謝金、旅費等

(参考) 出身市町村へのUターン希望状況

出身市町村への愛着



出身市町村へのUターン希望



高校時代までに(転出前に)地元企業を知ったことが、転出後も出身地への愛着として残り、Uターン希望につながっていることがうかがえる。

※「地方における雇用創出-人材還流の可能性を探る- (独立行政法人労働政策研究・研修機構)」をもとに作成